

問 14	解説 2	$\text{RCOOH} + \text{R}'\text{R}''\text{N} + \text{H}_2 \rightarrow \text{RCOOH} + \text{R}'\text{R}''\text{N}^+\text{H}_2$
問 18	設問：☒	<p>横軸の数値</p>
問 20	解説 1	同じ□度で存在するとき → 同じ濃度で存在するとき
問 24	選択肢 5	イソプレナリン → <u>l</u> -イソプレナリン
問 26	ポイント	4 行目以降を削除 (X 線回折パターンも削除)。
問 34	解説 4	メバロン酸 (イソプレノ) 経路 → メバロン酸 (イソプレノイド) 経路
問 36	解説 1	1 行目) ヒドロキシル基 → ヒドロキシメチル基 2 行目) カルボキシル基 → カルボキシ基
問 38	解説 1	アミノ酪酸 → アミノ酢酸
問 39	ポイント	3 行目) ポリペプチド鎖の疎水結合 → ポリペプチド鎖の水素結合
問 58	解説 1	2 行目) MHC クラス I 分子 → MHC クラス II 分子

問 1	解説 b	<p>差し替え)</p> <p>ピリミジンは、核酸中のウラシル、チミン、シトシンに含まれ、抗がん剤のフルオロウラシル (5-FU) の基本骨格として重要。</p> <p>5-FU</p>
問 11	設問、確認試験 a	カイニン酸 → カイニン酸水和物
問 12	ポイント	2 行目) ~知っていればイはこれがベンジン転位 → ~知っていれば、イがベンジジン転位
問 14	削除 (第 16 改正日本薬局方では記載されていない確認試験である)	
問 16	ポイント	<p>4 行目) 凝固点降下 (氷点降下) 度 (θ) = $K_f \cdot m$ → 凝固点降下 (氷点降下) 度 (θ) = $i \cdot K_f \cdot m$</p> <p>5 行目) m: 溶質の重量モル濃度 → m: 溶質の質量モル濃度、i: van't Hoff 係数</p> <p>13 行目) $\pi = R \cdot T \cdot m$ → $\pi = i \cdot R \cdot T \cdot m$</p> <p>14 行目) m: 溶質のモル濃度 → m: 溶質の質量モル濃度、i: van't Hoff 係数</p> <p>下から 2 行目) $\Delta T_b = K_b \cdot m$ → $\Delta T_b = i \cdot K_b \cdot m$</p> <p>下から 2 行目) m: 溶質の重量モル濃度 → m: 溶質の質量モル濃度、i: van't Hoff 係数</p>
問 25	解説 2	原子質量単位 → 統一原子質量単位
問 45	解説 1	ミトコンドリア内部から細胞質へ汲み出される → ミトコンドリアのマトリックスから膜間腔へ汲み出される
問 57	解説	ペプチド系ホルモン、タンパク質系ホルモン → ペプチドホルモン

問 10	選択肢 1	削除)
	解説 1	この確認試験は第 16 改正日本薬局方では記載されていない。
	Ans.	<u>1</u> 、 <u>2</u> → 2
問 13	解説 3	<u>NH₄OH</u> → <u>NH₃水</u>
問 18	設問	カルボキシル基 → カルボキシ基
問 31	設問	<u>2</u> つ選べ。 → <u>3</u> つ選べ。
	解説 3	差し替え) ○ <u>標準試薬には、第 14 改正日本薬局方では三酸化二ヒ素を使用していたが、第 15 改正日本薬局方からチオ硫酸ナトリウムを使用している。</u>
	Ans.	2、4 → 2、 <u>3</u> 、4
問 39	ポイント	アラビノース ペントース (五単糖) アルドース (ピラノース環)
		↓
		アラビノース ペントース (五単糖) アルドース (フラノース環)
問 55	選択肢 4	アセテ <u>ル</u> 化 → アセ <u>チ</u> ル化
	解説 4	DNA は <u>正</u> 電荷をもち、ヒストンは <u>負</u> 電荷をもつので →DNA は <u>負</u> 電荷をもち、ヒストンは <u>正</u> 電荷をもつので